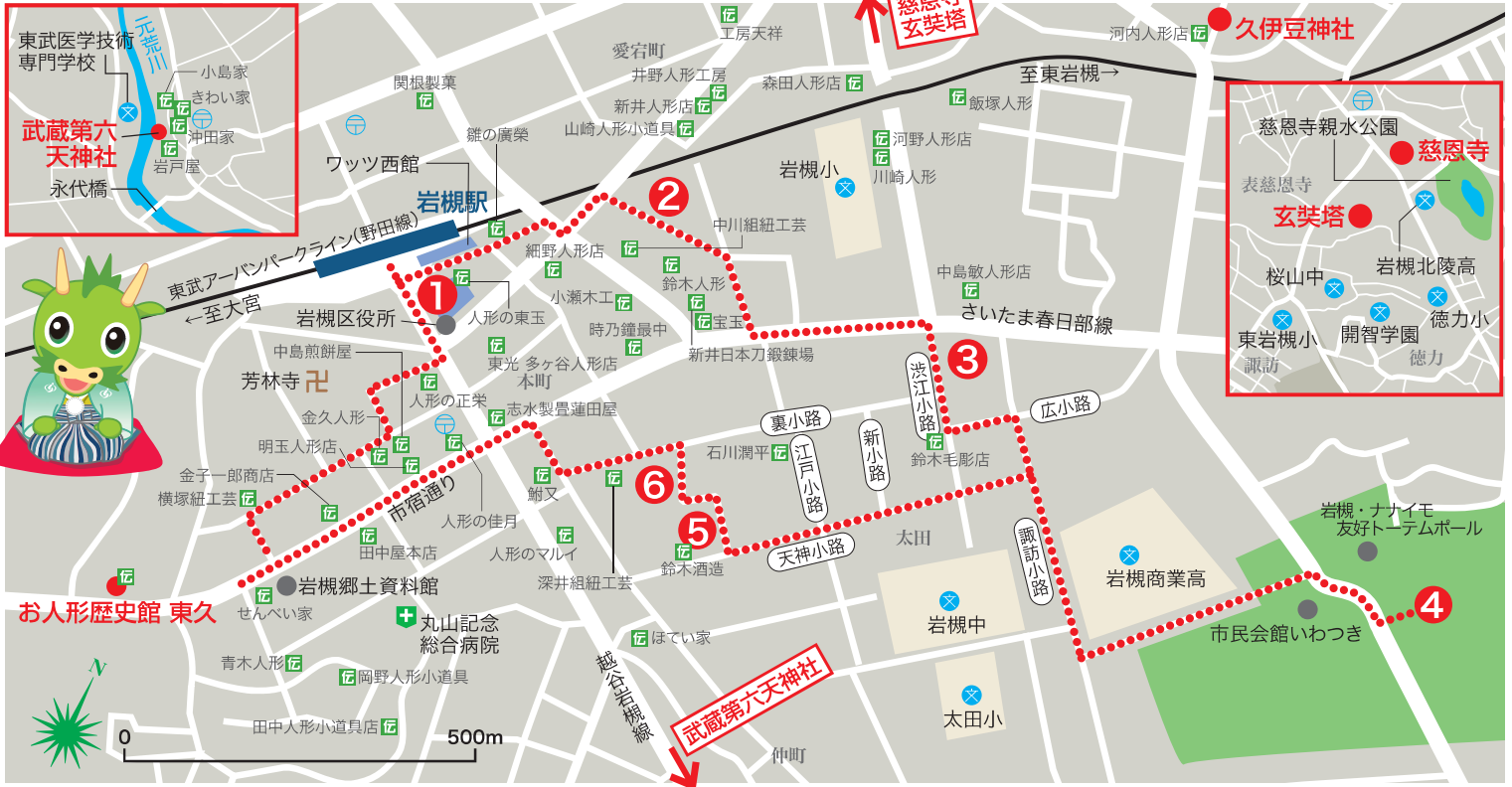




# 人形のまち・城下町岩槻ルート

伝統工芸と歴史の重みを今に伝える



- START 岩槻駅 東口**
- 1 東玉人形の博物館** (0.3km)
 

江戸時代からの日本の伝統文化である「五節供」を大切にしています。季節に合わせた展示のほか、見学できる人形工房や和風小物の売店が併設されており、実際に絵馬や人形等の製作体験もできます。🕒10:00~17:00 (※月曜(10/1~5/5)は無休)・年末年始 ※要入館料
- 2 大構(愛宕神社)** (0.7km)
 

岩槻城とその城下町をすっぽりと囲んだ全長8kmにもおよぶ土塁。現在は唯一愛宕神社にその遺構を残すのみです。
- 3 時の鐘** (1.0km)
 

岩槻城の鐘楼で、寛文11年(1671年)当時の岩槻城主阿部正春が渋江口に設置。以来、享保5年(1720年)の改鋳を経て、現在に至るまで、美しい音色を響かせ、今も午前6時・正午・午後6時に、市民に時を知らせています。
- 4 岩槻城址公園** (1.2km)
 

岩槻城址公園は、約600本の桜が咲く県内有数の桜の名所。園内の岩槻城城門(黒門)は門扉の両側に小部屋がある当時を偲ばせる長屋門です。自然林に囲まれた起伏の多い公園で、園内の菖蒲池には朱塗りの八ツ橋がかけられており、公園の彩りがなお一層引き立っています。
- 5 酒蔵資料館** (0.3km)
 

明治4年創業からの伝統の酒づくりを今に伝えるさまざまな歴史的資料・道具を展示。ビデオコーナーや試飲コーナーをはじめ地酒全商品を扱う直売店も併設しています。🕒10:00~17:00 (※月曜・年末年始)
- 6 遷喬館** (1.5km)
 

寛政11年(1799年)に、岩槻藩士の儒学者児玉南柯(こだまなか)が創設した私塾で、文化年間に藩校となりました。建物は武家屋敷を利用したもので、埼玉県内に現存する唯一の藩校です。🕒9:00~16:30 (※月曜・祝休日の翌日・年末年始)

市宿通り・太田道灌公騎馬像(芳林寺)経由
- GOAL 岩槻駅 東口**

岩槻には人形店がたくさんあります。江戸時代から続く岩槻の人形は経済産業大臣から「伝統的工芸品」の指定を受けています。このルートでは、岩槻人形と城下町であった岩槻の歴史を見ることができます。ルート外にも岩槻元祖かみしも雛を展示の「お人形歴史館 東久」、約1400年前に建立されたと言われている岩槻の総鎮守「久伊豆神社」、坂東札所第12番「慈恩寺」、三蔵法師の霊骨塔「玄奘塔」、元荒川沿いに建ち雰囲気を作る「武蔵第六天神社」など、見所がたくさんあります。